

原因推測と個人要因との関連性に関する予備的検討 —「発達障害の可能性のある場面」に対する推測課題を通して—

○西森章子 (広島修道大学)

平本花菜子 # (広島市立翠町小学校)

キーワード：原因推測，発達障害，質問紙調査

問題と目的

「ある問題」に出会ったとき、その「問題」に対して推論を働かせることができるかどうかは、その後、同様な問題に出会ったときの態度に影響する (小森, 2016)。特に「他者が一見不可解な行動を取る」場面に会ったとき、その行動の背景 (原因) を推測できるかどうかは、その後に同様の行動を観察したときの態度にも影響する可能性がある。

発達障害のある児童生徒を担任する教員が感じる困難について調べた研究からは、「当該児童と他の児童との人間関係の調整」や「当該児童と周囲の児童とのトラブル」などが挙げられている (松本・須川, 2013; 栗原ら, 2003)。これらの困難を低減するためには、発達障害に関する知識を周囲の児童に持たせることで、関係改善の可能性があることが示唆されている (渡邊, 2010)。その一方で、発達障害に関する知識の有無は発達障害の特徴のある他者への態度に影響しないという結果 (河西ら, 2019) も見られる。

本研究では、「発達障害の可能性のある人物が登場する場面 (ある場面)」を提示し、その人物が取る行動の原因を推測する課題を通して、原因を推測する力と個人要因との関連性を予備的に検討する。特に、個人要因として、[発達障害に関する知識の量 (以下、知識量)], [発達障害に関連する事象に関わった度合い (経験度)] を基に検討する。

方 法

対象者 広島県内の大学において教職科目を履修する 2 年生 105 名 (男性 45 名, 女性 60 名)。

質問紙の構成 質問紙は (1) フェイスシート, (2)

「ある場面」に対し推測を求める課題 (「ある人が他の人の話を遮って自分の話を始めてしまう場面」「ある人が騒がしくなると耳を塞いで黙ってしまう場面」の 2 場面), (3) 知識量を測定する課題 (16 項目), (4) 経験度を測定する課題 (9 項目) から構成された。

手続き 2019 年 7 月中旬に、集団で実施された。

結果と考察

「ある場面」に対し原因推測を求める課題

課題 2「ある人が騒がしくなると耳を塞いで黙ってしまう場面」に対し、「考えられる原因」として推測された原因数は全部で 396 件、一人当たり平均 3.81 件 ($SD=1.98$) であった。また、原因が多面的に推測されていたのかどうか、カテゴリに

基づき分類したところ (視点数)、一人当たりの視点数は平均 2.47 ($SD=1.09$) であった。

知識量と原因推測の関連性

「知識量」は、提示された文章 (例. 「ADHD は、青年・成人でも診断されることがある」等) に対し、正誤判断を求める課題により測定された (18 点満点)。得点を集計したところ、平均 10.12 点 ($SD=2.64$) であった。13 点以上 ($n=21$) を知識量高群、7 点以上 13 点未満を知識量中群 ($n=65$)、7 点未満を知識量低群 ($n=18$) とし、群分けをおこなった。知識量と原因推測数及び原因視点数の関連について、3 群間で平均値を比較した結果、群間の差は認められなかった ($F(2, 101)=0.21$, $n.s.$, $F(2, 101)=0.77$, $n.s.$)。

経験度と原因推測の関連性

「経験度」は、提示された文章 (例. 「私は、ボランティアで発達障害のある人と関わる (関わった) ことがある」等) に対し、当てはまるものを選択するよう求める課題を通して測定された。このとき提示文は、経験に対する (能動度×身近である度合い) に即して、4 つのカテゴリに対応するように作成されていた。このうち 2 カテゴリ以上当てはまるとした場合を経験高群、1 カテゴリのみ当てはまるとした場合を経験低群、すべてのカテゴリに当てはまらないと場合を経験無群として群分けをおこなった (Table 1)。発達障害に関する経験の度合いと原因推測数と原因視点数との関連性について、それぞれの平均値を 3 群間で比較した結果、群間の差は認められなかった ($F(2, 101)=1.85$, $n.s.$, $F(2, 101)=0.31$, $n.s.$)。

以上より、原因を推測する力は、発達障害に関する知識の量や経験の度合いと関連するとは言えないことが示された。今後は、他の原因推測課題においても、同様の結果となるのかどうか検討する必要がある。

Table 1 経験度と原因推測との関連性

	原因推測数	原因視点数
経験度高群 ($n=27$)	4.30 (2.30)	2.56 (1.31)
経験度低群 ($n=58$)	3.48 (1.75)	2.40 (0.99)
経験度無群 ($n=19$)	4.11 (2.01)	2.58 (1.07)